

輸送動向について(12月分)

平成 17 年 1 月

1. 輸送概況

今月は、10月23日の地震発生以来、不通となっていた上越線が12月27日に65日ぶりに一部単線運転（越後川口駅～越後滝谷駅間13.8km）で開通し、貨物列車4往復（平常時では定期列車9往復）の直通運転を再開した。これにより、トラックによる代行輸送は12月26日に終了した。この間の影響で高速貨373本、専貨72本が運休となった他、12月5日に発生した静岡及び東京地区での強風による輸送障害については、正常ダイヤへの復帰が長引いたため大きな影響を残し、月全体では、高速貨548本、専貨82本が運休した。この結果、輸送量は前年比94.0%となった。

なお、上越線一部単線運転による復旧後も、輸送対策として、5往復の迂回列車を運転し、引き続き輸送力の確保に努めている。

コンテナ貨物では、自動車部品、積合せ貨物等が前年を上回ったものの、政府米が減送となった農産品の他、生野菜青果物、食料工業品等が前年を下回った。また、年末期には輸送力を拡大したことで前年を大幅に上回ったが、コンテナ全体では前年比98.6%となった。

車扱貨物では、輸送障害による列車運休の他、暖冬の影響で灯油が減送となった石油をはじめ、セメント、紙・パルプ等、全ての品目が前年を下回り、車扱全体では前年比88.7%となった。

2. 輸送実績

(単位：千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	1,955	1,984	98.6%	16,657	16,496	101.0%
車 扱	1,489	1,679	88.7%	10,544	11,184	94.3%
計	3,444	3,663	94.0%	27,201	27,680	98.3%

3. 品目別輸送実績表

(単位：千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	98	132	-34	74.2%
	生野菜青果物	95	109	-14	87.2%
	化学工業品	185	193	-8	95.9%
	化学薬品	143	145	-2	98.6%
	食料工業品	333	343	-10	97.1%
	紙パルプ等	280	276	4	101.4%
	他工業品	135	125	10	108.0%
	積合せ貨物等	245	234	11	104.7%
	自動車部品	40	36	4	111.1%
	エコ関連物資	42	33	9	127.3%
	その他の	359	358	1	100.3%
コンテナ計	1,955	1,984	-29	98.6%	
車 扱	石 油	1,017	1,096	-78	92.9%
	セメント	110	169	-59	65.2%
	石灰石	58	60	-2	96.9%
	車 両	152	172	-21	88.1%
	紙・パルプ	37	50	-13	74.0%
	化学工業品	51	66	-16	76.2%
	その他の	64	66	-2	96.7%
車 扱 計	1,489	1,679	-190	88.7%	
合 計	3,444	3,663	-219	94.0%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)